



(様式第9)

北里病発第 号
平成21年10月 1日

厚生労働大臣 殿

開設者名 学校法人 北里研究所 北里
理事長 柴 忠

北里大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成20年度の業務に関して報告します。
記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照 (様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照 (様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	141 人
--------	-------

- (注) 前年度の研修医の実数を記入すること。
- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照 (様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照 (様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業員の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数	
医 師	501人	134人	521.0人	看護業務補助	58.6人	診療エックス線技師	0人	
歯科医師	1人	3人	1.3人	理学療法士	13.3人	臨床 検査	臨床検査技師	108人
薬 剤 師	49人	1人	49.5人	作業療法士	5人		衛生検査技師	1人
保 健 師	6人	0人	6.0人	視能訓練士	10人		そ の 他	0人
助 産 師	27人	0人	27.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人	
看 護 師	977人	56人	999.0人	臨床工学技士	32.8人	医療社会事業従事者	8人	
准看護師	3人	0人	3.0人	栄 養 士	1人	その他の技術員	13人	
歯科衛生士	0人	0人	0人	歯科技工士	0人	事 務 職 員	195.6人	
管理栄養士	25人	0人	25.0人	診療放射線技師	64人	そ の 他 の 職 員	81.7人	

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、少数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数
歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合 計
1日当たり平均入院患者数	814人	0人	814人
1日当たり平均外来患者数	2,587人	0人	2,549人
1日当たり平均調剤数			2120.9剤

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

1 先進医療の届け出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有(無)	人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション	有(無)	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療(心臓弁又は血管を用いるものであって、組織の凍結保存及び外科治療を同一施設内で行うものに限る。)	有(無)	人
胎児心超音波検査(産科スクリーニング胎児超音波検査において心疾患が強く疑われる症例に係るものに限る。)	有(無)	人
インプラント義歯(顎骨の過度の吸収により、従来の可撤性義歯では咀嚼機能の回復が困難なものに限る。)	有(無)	人
顎顔面補綴(腫瘍手術、外傷及び炎症その他の原因により顔面領域に生じた広範囲の実質欠損に係るものに限る。)	有(無)	人
顎関節症の補綴学的治療(顎関節症(顎関節内障、下顎頭の著しい変形及び顎関節板の断裂を除く。)に係るものに限る。)	有(無)	人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法(神経の障害による運動麻痺又は骨・関節手術後の筋萎縮に係るものに限る。)	有(無)	人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	(有)無	0 人
光学印象採得による陶材歯冠修復法(歯冠部齶蝕の修復に係るものに限る。)	有(無)	人
経皮的レーザー椎間板減圧術(内視鏡下にわるものを含み、椎間板ヘルニアに関わるものに限る。)	有(無)	人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定(白血病、悪性リンパ腫又は多発性骨髄腫その他の造血器悪性腫瘍に係るものに限る。)	有(無)	人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法(手術が予定されている者で、悪性高熱症が強く疑われる者に係るものに限る。)	有(無)	人
CTガイド下気管支鏡検査(肺腫瘍に係るものに限る。)	有(無)	人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断(アンチトロンピン欠乏症、第Ⅷ因子欠乏症、先天性アンチトロンピンⅢ欠乏症、先天性ヘパリンコファクターⅡ欠乏症又は先天性プラスミノゲン欠乏症に係るものに限る。)	有(無)	人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有(無)	人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有(無)	人
三次元形状解析による顔面の形態的診断(頭蓋、顔面又は頸部の変形性疾患に係るものに限る。)	有(無)	人
HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん(根治度Cの胃がんを除く。)、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有(無)	人
子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断(子宮頸部軽度異形成に係るものに限る。)	有(無)	人
腹腔鏡下肝部分切除術(肝外側区域切除術を含み、肝腫瘍に係るものに限る。)	有(無)	人
悪性腫瘍に対する陽子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有(無)	人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。)	有(無)	人
成長障害のDNA診断(突発性低身長症に係るものに限る。)	有(無)	人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術(内視鏡的治療若しくは薬物治療抵抗性の食道静脈瘤又は胃静脈瘤、門脈圧亢進症性胃腸症、難治性腹水又は難治性肝性胸水に係るものに限る。)	有(無)	人



先進医療の種類	届出受理	取扱患者数
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術(主に乳房温存手術が可能なステージⅠ又はⅡの乳がんに係るものに限る。)	有・無	人
声帯内自家側頭筋膜移植術(一側性反回神経麻痺又は声帯溝症に係るものに限る。)	有・無	1人
骨髄細胞移植による血管新生療法(閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の治療法に抵抗性もので、フォンタン分類Ⅲ度又は同分類Ⅳ度のものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
ミトコンドリア病のDNA診断(高乳酸血症その他のミトコンドリア機能低下が疑われる疾患に係るものに限る。)	有・無	人
鏡視下肩峰下腔除圧術(透析アミロイド肩関節症又は腱板断裂、五十肩若しくは関節リウマチその他の原因による肩インピンジメント症候群に係るものに限る。)	有・無	人
神経変性疾患のDNA診断(ハンチントン舞踏病、脊髄小脳変性症、球脊髄性筋萎縮症、家族性筋萎縮性側索硬化症、家族性低カリウム血症性周期性四肢麻痺又はマックリード症候群その他の神経変性疾患に係るものに限る。)	有・無	人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術(再発翼状片、角膜上皮欠損(角膜移植によるものを含む。)、角膜穿孔、角膜化学腐食、角膜癒着(スティーブン・ジョンソン症候群、眼類天疱瘡、熱・化学外傷癒着その重症の癒着性角膜結膜炎疾患を含む。)、結膜上皮内過形成又は結膜腫瘍その他の眼表面疾患に係るものに限る。)	有・無	人
重粒子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・無	人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術(原発性脊椎腫瘍又は転移性脊椎腫瘍に係るものに限る。)	有・無	人
31P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断(糖尿病性足病変危険群と考えられる糖尿病患者に係るものに限る。)	有・無	人
神経芽腫のRNA診断	有・無	人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療(腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊椎管狭窄使用又は腰椎手術の実施後の腰下肢痛(保存治療に抵抗性のものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断(BCG副反応症例又は非定型抗酸菌感染で重症、反復若しくは難治である場合に係るものに限る。)	有・無	人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体窒素処理骨移植	有・無	人
膵腫瘍に対する腹腔鏡補助下膵切除術(インスリノーマ、脾動脈瘤、粘液性嚢胞腫瘍、膵管内腫瘍その他の膵良性腫瘍に係る膵体尾部切除又は核出術に限る。)	有・無	人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断(マントル細胞リンパ腫の補助診断として用いるものに限る。)	有・無	人
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・無	人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断(急性期又は慢性期のQ熱に係るものに限る。)	有・無	人
エキシマレーザー冠動脈形成術(経皮的冠動脈形成術(エキシマレーザー冠動脈形成術を除く。))による治療が困難なもの、慢性完全閉塞のもの又はこれに準ずるものに係るものに限る。)	有・無	人
活性化Tリンパ球移入療法(原発性も若しくは続発性の免疫不全症の難治性日和見感染症又は慢性活動性EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・無	人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・無	人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術(膀胱尿管逆流症(国際分類Vグレードの高度逆流症を除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断と治療	有・無	人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術(泌尿生殖器腫瘍のリンパ節転移例又は画像上リンパ節転移が疑われるものに係るものに限る。)	有・無	人



先進医療の種類	届出受理	取扱患者数
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植 (HLA適合ドナーがないために造血幹細胞移植が受けられない小児がん、難治性造血障害又は免疫不全症に係るものに限る。)	有・無	人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術 (頸椎椎間板ヘルニア (画像診断上椎間板繊維輪の破綻していないヘルニアであって、神経根症が明らかであり保存治療に抵抗性のないもの (後縦靭帯骨化症、脊椎管狭窄状態又は脊椎症状のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
ケラチン病の遺伝子診断 (水疱型魚鱗癬様紅皮症又は単純型表皮水疱症その他の遺伝子異常に係るものに限る。)	有・無	人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・無	人
抹消血幹細胞による血管再生治療 (慢性閉塞性動脈硬化症又はパージャージャー病 (重篤な虚血性心疾患又は脳血管障害を有するものを除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
抹消血単核球移植による血管再生治療 (慢性閉塞性動脈硬化症又はパージャージャー病 (従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術 (双胎間輸血症候群に罹患した一絨毛膜性双胎妊娠の症例 (妊娠十六週から二十六週に限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法 (肺がん又は気管支肺がん病変に係るものに限る。)	有・無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断 (ウィルソン病、メンケス病又はオクシピタルホーン症候群に係るものに限る。)	有・無	人
超音波骨折治療法 (四肢の骨折 (治療のために手術中に行われるものを除く。))のうち、観血的手術を実施したもの (解放骨折又は粉碎骨折に係るものを除く。))に係るものに限る。)	有・無	0 人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテララメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法 (ヘリコバクター・ピロリ感染を伴う胃潰瘍又は十二指腸潰瘍に係るものに限る。)	有・無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存 (骨又は靭帯の再建術であって、先天性疾患、外傷性 (欠損性又は感染性偽関節に係るものに限る。)、骨腫瘍切除後、関節固定術時若しくは人工関節置換術時 (初回又は再置換術に限る。))の広範囲骨欠損、脊椎固定術時の骨融合促進又は靭帯断裂による関節不安定性に係るものに限る。)	有・無	37 人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術 (難治性根尖性歯周炎であって、通常の根管治療では効果が認められないもの)に係るものに限る。)	有・無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価 (骨粗鬆症、骨変形若しくは骨腫瘍又は骨腫瘍掻爬術後若しくは骨髄炎掻爬術後に係るものに限る。)	有・無	人
膀胱水圧拡張術 (間質性膀胱炎に係るものに限る。)	有・無	人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有・無	人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・無	人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法 (歯周炎による重度垂直性骨欠損に係るものに限る。)	有・無	人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術 (人工股関節のたるみに関わるものに限る。)	有・無	人
腹腔鏡下直腸固定術 (直腸脱に係るものに限る。)	有・無	人
骨移動術による関節温存型再建 (骨軟部腫瘍切除後の骨欠損に係るものに限る。)	有・無	人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション (原発性肝がん、肝内胆管がん、転移性肝がん又は生体肝移植ドナーに係るものに限る。)	有・無	人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法 (腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍 (食道がん、胃がん又は、大腸がん)、進行性再発乳がん又は原発性若しくは転移性肺がん)に係るものに限る。)	有・無	人



先進医療の種類	届出受理	取扱患者数
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断(EB4ウイルス感染症に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術(尿管腫瘍、膀胱腫瘍、後腹膜腫瘍、後腹膜リンパ節腫瘍(精巣がんから転移したものに限る。又は骨盤リンパ節腫瘍(泌尿器がんから転移したものに限る。))に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術(白内障に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	人
先天性難聴の遺伝子診断(遺伝性による先天性難聴が疑われるものに限る。)に係るものに限る	有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断(フェニルケトン尿症、高フェニルアラニン血症又はビオプテリン反応性フェニルアラニン水酸化酸素欠損症に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	人
培養細胞による先天性代謝異常診断(先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。)に罹患する可能性の高い胎児もしくは新生児又は先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。)が疑われる小児のかかわるものであって、酸素補充療法による治療が出来ないものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術(手術進行期分類b期までの子宮体がんに係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	人
RET遺伝子診断(甲状腺髄様癌に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	人
角膜ジストロフィの遺伝子解析(角膜ジストロフィと診断された症例に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	人
強度変調放射線治療(限局性の固形悪性腫瘍(頭頸部腫瘍、前立腺腫瘍又は中枢神経腫瘍であって、原発性のものを除く。))に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	人
マイクロ波子宮内膜アブレーション(機能性及び器質性過多月経(ただし、妊孕性の温存が必要な場合又は子宮内膜がん、異型内膜増殖症その他の悪性疾患又はその疑いがある場合を除く。))であって、子宮壁厚十ミリメートルの症例に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	人
抗EGFR抗体医薬投与前におけるKRAS遺伝子変異検査(EGFR陽性の治癒切除不能の進行又は再発の結腸又は直腸がんに係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	人
光ポトグラフィー検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助(ICD-10(統計法第二十八条及び附則第三条の規定に基づき、疾病、障害及び死因に関する分類の名称及び分類表を定める件(平成二十一年総務省告示第百七十六号)の「(1)疾病、障害及び死因の統計分類基本分類表」に規定する分類をいう。))においてF2(統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害)に分類される疾病及びF3(気分(感情)障害)に分類される疾病のいずれかの疾病の患者であることが強く疑われるうつ症状の者(器質的疾患に起因するうつ症状の者を除く。))に係るものに限る。))	有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	人
内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術(下肢慢性静脈不全症(下腿の広範囲の皮膚に色素沈着、硬化若しくは萎縮が起こり、又は潰瘍を有するとともに、超音波検査により穿通枝の血液が逆流していることが確認され、かつ、従来の外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	人
歯科用CAD・CAMシステムを用いたハイブリッドレジンによる歯冠補綴(小白歯の重度の齶蝕に対して全部被覆冠による歯冠補綴が必要な場合に限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	人
大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(早期大腸がん(BMR(内視鏡的粘膜切除術をいう。以下同じ。))では一括切除が困難に二センチメートル以上の病変であって、拡大内視鏡診断又は超音波内視鏡診断による十分な術前評価の結果、根治性が期待できるものに限る。))又は腺種(EMRを実施した際の病変の挙上不良なもの又はEMRを実施した後に遺残又は再発したものであってEMRでは切除が困難に一センチメートル以上の病変のものに限る。))に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	人
実物大臓器立体モデルによる手術支援(骨盤、四肢骨又は関節に著しい変形又は欠損を伴う疾患又は外傷に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術(頸部良性腫瘍に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
悪性黒色種におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術(転移性脊椎骨腫瘍、骨粗鬆症による脊椎骨折又は難治性疼痛を伴う椎体圧迫骨折若しくは臼蓋骨折に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	165 人
カフェイン併用化学療法(骨肉種、悪性線維性組織球種、滑膜肉腫又は明細胞肉腫その他の骨軟部悪性腫瘍に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
胎児尿路・羊水腔シャント術(プルーン・ペリー症候群その他の胎児閉塞性尿路疾患に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療(ジストニア、痙性麻痺その他の局所の筋過緊張を呈する病態に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(胸部悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。)に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(腎悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
内視鏡下甲状腺がん手術(手術の実施後、予後の良い甲状腺乳頭がんに係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法(転移性腫瘍で既存の治療法により制御不良なもの又は類骨腫(診断の確実なものに限る。)に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法(一次性下肢静脈瘤に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術(特発性又は既知の胎児先天性感染による胸水を主たる徴候とする非免疫性胎児水腫(NIHF)例であって、胸腔穿刺後一週間以降に胸水の再貯留が認められるもの(妊娠二十週から三十四週未満に限る。)に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法(二次性副甲状腺機能亢進症に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
腹腔鏡補助下肝切除術(部分切除及び外側区域切除を除く。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
根治的前立腺全摘除術における内視鏡下手術用ロボット支援(前立腺がんに係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人

(注)1「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	118人	・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	110人
・多発性硬化症	77人	・ウェゲナー肉芽腫症	6人
・重症筋無力症	113人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	139人
・全身性エリテマトーデス	691人	・多系統萎縮症	32人
・スモン	0人	・表皮水泡症(接合部型及び栄養障害型)	2人
・再生不良性貧血	51人	・膿胞性乾癬	11人
・サルコイドーシス	92人	・広範脊柱管狭窄症	3人
・筋萎縮性側索硬化症	8人	・原発性胆汁性肝硬変	43人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	445人	・重症急性膵炎	2人
・特発性血小板減少性紫斑病	152人	・特発性大腿骨頭壊死症	65人
・結節性動脈周囲炎	49人	・混合性結合組織病	88人
・潰瘍性大腸炎	67人	・原発性免疫不全症候群	5人
・大動脈炎症候群	34人	・特発性間質性肺炎	35人
・ピュルガー病	33人	・網膜色素変性症	41人
・天疱瘡	50人	・プリオン病	1人
・脊髄小脳変性症	26人	・原発性肺高血圧症	8人
・クローン病	18人	・神経繊維腫症	8人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	2人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・悪性関節リウマチ	20人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0人
・パーキンソン病	155人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	3人
・アミロイドーシス	6人	・ライゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	3人
・後縦靭帯骨化症	23人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・ハンチントン病	1人	合計	2,836人

(注)「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3. 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	病院病理部 150回/1年(週3回)	
剖検の状況	剖検症例数 86例	剖検率 11.0%



(様式第 1 1)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1. 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元
「肺癌の動体追跡放射線治療の臨床研究」	早川 和重	放射線科	80 万	補 科学研究費補助金基盤研究 (A) 白土班
「放射線治療を含む標準治療擁立のための施設共同研究」	早川 和重	放射線科	50 万	補 厚生労働省がん研究助成金 (平岡班)
「がん診療あるいは治療ガイドラインの公益性を目的とした公開のための体制作りに関する研究」	早川 和重	放射線科	30万	補 厚生科学研究費補助金第三次がん総合戦略研究事業 (若尾班)
				委 補
			万	委 補
			万	委 補
			万	委 補
			万	委 補
			万	委 補
			万	委 補
			万	委 補
			万	委 補

(放射線計 3 件)



(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1. 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元
急性高度難聴に関する調査研究	岡本 牧人	耳鼻咽喉科	100 万	補 厚生労働省 委
下咽頭癌の浸潤転移を規定する既存・新規分子の発現と予後との関連性	中山明仁	耳鼻咽喉科	100 万	補 文部科学省 委
扁桃における糖鎖不全IgA産生メカニズムの解明	伊藤昭彦	耳鼻咽喉科	140 万	補 文部科学省 委
モルモット咽頭粘膜および輪状咽頭筋におけるニューロペプチドの動態に関する研究	横堀 学	耳鼻咽喉科	20 万	補 文部科学省 委
ヒアルロン酸・コラーゲン混合シートによる損傷声帯での狭窄、癒痕化防止の試み	清野由輩	耳鼻咽喉科	60 万	補 文部科学省 委
			万	補 委
			万	補 委

(耳鼻咽喉科計 5件)

- [注] 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。



(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1. 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元
胃癌の腹腔洗浄細胞遺伝子診断陽性例における術後補助化学療法の効果に関する検討	渡邊昌彦	外科	100万	補(財)がん集学的治療研究財団 第28回一般研究助成
大腸癌の発生、進展および治療感受性に関わる因子の解析	渡邊昌彦	外科	130万	委科学技術振興機構 (戦略的創造研究推進事業)
再発高危険群の大腸がんに対する術後補助療法の確立に関する研究	渡邊昌彦	外科	100万	補厚生労働科学研究費補助金がん臨床研究事業
大腸癌肝転移切除後患者様を対象としたフルオロウラシル/Iーロイコボリンとオキサリプラチン併用補助化学療法(mFOLFOX6) vs. 手術単独によるランダム化II/III相試験	渡邊昌彦	外科	20万	補厚生労働省がん臨床研究事業
進行大腸がんに対する腹腔鏡下手術の根治性に関する比較研究	渡邊昌彦	外科	150万	補厚生労働科学研究費補助金(効果的医療技術の確立推進臨床研究事業)
大腸がん肝転移症例の術後補助化学療法に関する研究	佐藤武郎	外科	79万8千	補厚生労働省がん臨床研究事業
進行大腸がんに対する低侵襲治療法の確立に関する研究	佐藤武郎	外科	75万	補厚生労働省がん臨床研究事業
コラーゲン合成制御によるスキルス胃癌間質の線維化、硬化抑制に関する基礎的研究	菊池史郎	外科	70万	補文部科学省(基盤研究C)
肝疾患患者のQOLおよび予後延長に寄与する因子の検討	古田一徳	外科	13万5千	委(財)かながわ健康財団

(外科計 9件)



(様式第 1 1)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1. 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元
眼優位性定量装置の開発と弱視治療への応用	半田知也	眼科 (医療衛生学部)	78 万	補 文部科学省 科学研究費 委
遮閉および眼位が眼優位性に及ぼす影響	新田任里江 (現：鈴木)	眼科 (医療衛生学部)	169 万	補 文部科学省 科学研究費 委
			万	補 委
			万	補 委
			万	補 委
			万	補 委
			万	補 委
			万	補 委
			万	補 委
			万	補 委

(眼科計 2件)

- [注] 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1. 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元
微乳頭腺構造を有する肺腺癌をモデルとした癌浸潤・転移メカニズムの解析	佐藤 之俊	呼吸器外科学	130 万	補 独立行政法人 日本学術振興会
肺癌個別化医療に向けたリンパ節転移予測診断システムの構築	伊豫田 明	呼吸器外科学	130 万	補 独立行政法人 日本学術振興会
急性循環障害時におけるトロンボキサンA2の血管新生増強メカニズムの解析	天野 英樹	呼吸器外科学	150 万	補 独立行政法人 日本学術振興会
肺大細胞神経内分泌癌における分子標的マーカーの発現解析	佐藤 之俊	呼吸器外科学	100 万	補 厚生労働省がん 研究助成金
病態時の脈管動態の分子基盤と治療への応用	天野 英樹	呼吸器外科学	50 万	補 文部科学省「ハイ テク・リサーチ・ センター整備事業 部」
病態時の脈管ダイナミックスを制御する骨髄由来血管内皮増殖因子1型受容体(VEGFR-1)発現細胞の役割解析と治療応用への基礎的検討	佐藤 之俊	呼吸器外科学	500 万	補 北里大学 教員プロジェクト 研究

(呼吸器外科計 6件)

- [注] 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。



(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1. 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元
難治性疾患克服研究事業 特発性心筋症に関する 調査研究	和泉 徹	循環器内科	110万	(補) 厚生労働省 委
循環器病研究委託事業 心サルコイドーシスの 病態診断と治療に関する 研究	和泉 徹	循環器内科	100万	補 (委) 国立循環器 病センター
循環器疾患等生活習慣 病対策総合研究事業 ヒスタミンと心不全の 関連についての検討- H2-レセプターブロッカ ーは心不全を改善する か	和泉 徹	循環器内科	100万	(補) 厚生労働省 委
心不全・心筋症の免疫 学的発症機構の解明と その臨床応用	猪又孝元	循環器内科	1000万	(補) 車両財団公 益資金祈念財団 委
重症虚血肢に対する PUVA療法の有効性につ いての検討	東條大輝	循環器内科	50万	(補) 独立行政法 人日本学術振興会 委

(循環器内科計 5件)

- [注] 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。



(様式第 1 1)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1. 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元
川崎病の病態究明と新しい治療法の開発：DNAマイクロアレイを用いた検討	緒方昌平	小児科学	30 万	補 文部科学省 委
			万	補 委
			万	補 委
			万	補 委
			万	補 委
			万	補 委
			万	補 委
			万	補 委
			万	補 委

(小児科計 1件)

- [注] 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。



(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1. 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元
早期消化管がんに対する内視鏡的治療の安全性と有効性の評価に関する研究-粘膜下層浸潤臨床病期I (TINOMO) 食道がんに対するEMR/化学放射線療法併用療法の有効性に関する第II相試験:「JCOG0508」班	田邊 聡	消化器内科	40万円	補助元 厚生労働科学研究費補助金 がん臨床研究事業
気道食道領域がんのリスクとアルコール代謝酵素との関連性とその臨床評価に関する研究班	堅田親利	消化器内科	80万円	補助元 厚生労働省がん研究助成金計画研究
拡大内視鏡による消化器癌の早期診断法の確立に関する研究班	堅田親利	消化器内科	40万円	補助元 厚生労働省がん研究助成金計画研究
切除不能胆道がんに対する治療法の確立に関する研究	木田光広	消化器内科	15万円	補助元 厚生労働省がん臨床研究事業

(消化器内科計 4件)

[注]

- 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。



(様式第 11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1. 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元
自殺企図の再発防止に対する複合的ケース・マネジメントの効果：多施設共同による無作為化比較研究	山本賢司	精神神経科	140万	補 厚生労働省
			万	補 委
			万	補 委
			万	補 委
			万	補 委
			万	補 委
			万	補 委
			万	補 委
			万	補 委

(精神神経科計 1件)

- [注] 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。



(様式第 1 1)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1. 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元
ヒト皮膚毛包幹細胞を用いた末梢神経・脊髄損傷の修復と再生	天羽 康之 勝岡 憲生	皮膚科	500万	補 2007-2009年度北里大学共同研究(AKPS) 委
ヒト頭部皮膚由来毛包幹細胞を用いた神経障害を伴う損傷皮膚の再生	天羽 康之	皮膚科	130万	補 2008-2010年度日本学術振興会科学研究費補助金(若手研究B) 文部科学省 委
			万	補 委
			万	補 委
			万	補 委
			万	補 委

(皮膚科計 2件)

- [注] 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。



(様式第 1 1)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1. 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元
中枢神経ループスにおける抗神経細胞抗体の解析	廣畑 俊成	膠原病感染内科	150 万	補 文部科学省 委
ベーチェット病に関する調査研究	廣畑 俊成	膠原病感染内科	80 万	補 厚生労働省 委
シェーグレン症候群の実態調査	廣畑 俊成	膠原病感染内科	70 万	補 東京都 委 福祉保健局
強皮症における病因解明と根治的治療法の開発	遠藤 平仁	膠原病感染内科	110 万	補 厚生労働省 委
混合性結合組織病の病態解明と治療法の確立に関する研究	岡田 純	膠原病感染内科	130 万	補 厚生労働省 委
関節リウマチの骨髄における発現遺伝子の解析	橋本 篤	膠原病感染内科	80 万	補 文部科学省 委
			万	補 委
			万	補 委

(膠原病感染内科計 6件)

研究費補助等の実績総合計 44件

- [注] 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。



2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Eur J Gynaecol Oncol 29: 222-224, 2008	Phase II study of radiation therapy combined with weekly nedaplatin in locally advanced uterine cervical carcinoma (LAUCC): Kitasato Gynecologic Radiation Oncology Group (KGROG0501) - initial analysis.	新部 譲	放射線科
Anticancer Res 28: 3929-3931, 2008	Value of high-dose radiation therapy for isolated osseous metastasis in breast cancer in terms of oligo-recurrence.	新部 譲	放射線科
臨床放射線 53: 1127-1131, 2008.	局所進行子宮頸癌に対するnedaplatin 同時併用放射線療法の第II相試験 (KGROG0501): 初期15例の解析結果.	新部 譲	放射線科
頭頸部癌 34: 352-354, 2008.	T2N0声門癌に対する化学放射線療法の意義.	新部 譲	放射線科
北里医学 38: 117-119, 2008.	再発/転移癌へのあらたな治療戦略: oligometastasesとoligo-recurrenceの立場から.	新部 譲	放射線科

(放射線計 5件)

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る）
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。



2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Radiother Oncol, 87(3): 398-404, 2008. Epub 2008 Apr 9	A phase I trial of definitive chemoradiotherapy with docetaxel, cisplatin, and 5-fluorouracil (DCF-R) for advanced esophageal carcinoma: Kitasato digestive disease & oncology group study (KDOG 0501).	早川 和重	放射線科
Biomed Pharmacother, in press, 2008	Blockade of an Angiotensin Type I Receptor Enhances Effects of Radiation on Tumor Growth and Tumor-associated Angiogenesis by Reducing Vascular Endothelial Growth Factor Expression.	早川 和重	放射線科
Eur. J. Gynaec. Oncol. 29(3): 222-224, 2008.	Phase II study of radiation therapy combined with weekly nedaplatin in locally advanced uterine cervical carcinoma (LAUCC): Kitasato Gynecologic Radiation Oncology Group (KGROG 0501) - initial analysis.	早川 和重	放射線科
Jpn J Clin Oncol. 38(7):469-473, 2008 Jul; Epub 2008 Jun 23.	Four-year experience of interstitial permanent brachytherapy for Japanese men with localized prostate cancer.	早川 和重	放射線科
Radiother Oncol. 89(2):214-216, 2008 Nov; Epub 2008 Aug 11.	Inter-software variability in post-implanted CT analysis for interstitial permanent brachytherapy for prostate cancer: differences in automatically detected seed location.	早川 和重	放射線科
Radiat Med. 26(8):512-515. Epub 2008 Oct 31. Erratum in: Radiat Med. 26(10):636, 2008 Dec.	Needle position during (125)I seed implantation: accurately recognized by sagittal transrectal ultrasonography [corrected].	早川 和重	放射線科